



株式会社エスツー

GPUとIBM Asperaを備えた仮想デスクトップ環境で大容量の映像データ編集が抱える課題の解決に挑む

お客様情報



仙台OFFICE

株式会社エスツー

●本社所在地
〒010-0001
秋田県秋田市中通二丁目2-32 山ニビル9F
<http://www.esu2.co.jp/>

2006年5月に設立された株式会社エスツーは、「日本一融通が利くサーバー屋」を目指し、データセンター事業やフルマネージドホスティング事業などを展開しています。

現在、数多くのデジタルデータが日常的に処理され受け渡されています。そのような中、ゲーム、緻密なコンピューターグラフィックス(以下、CG)、高解像度の映像などのデータは大容量となるため、高性能なPCでなければ編集処理が進められなかったり、データの転送に膨大なコストと時間がかかっていたりしています。仙台を拠点にデータセンター事業やフルマネージドホスティング事業を展開する株式会社エスツー(以下、エスツー)は、コンピューターシステムで音声や画像データを高速で処理できるGraphics Processing Unit(以下、GPU)と、既存ネットワーク環境で大容量のデータを安全かつ確実に高速転送できるソリューションIBM Asperaを組み合わせて、場所を選ばずどこでも大容量のデジタルデータが編集でき、どこからでも確実に転送できるサービスS2 GPU CLUSTER(エスツー ジーピーユー クラスター)の提供を開始しました。

大容量のデジタルデータを地方拠点の企業でも確実に受け渡せる環境

エスツーは、2011年に発生した東日本大震災を契機に、それまで拠点としてきた仙台に加えて秋田にも事業所とデータセンターを設け、同社のデータセンター事業やフルマネージドホスティング事業をより安全に安心して首都圏の顧客に利用してもらうよう努力し続けています。近年、このようなエスツーの取り組みがさまざまな媒体で取り上げられ、仙台や秋田など東北地方でも注目されるようになり、地方に活動拠点を持つ映像、ゲーム、CGの企業との新たな出会いがいくつかありました。そして、そのような場で、エスツーは彼らが抱える課題を知りました。

エスツー 代表取締役で最高経営責任者(CEO)を務める須藤晃平氏は次のように話します。「仙台や秋田では、ゲームを作っていたり映像制作に協力していたりする企業が最近増え、かなりの数に上っています。そのような彼らの一番の悩みは、自分たちが手掛けたデジタルデータを至急修正しなければならなくなったときに、首都圏の発注元から修正依頼が来ないことだそうです。これは、地方に活動拠点を持つ彼らが発注元とのデータのやり取りにハードディスクを宅配で送ったり直接手渡したりといった方法しか取れず、発注元が要求する即日納品という短期間でのデータ受け渡しに対応できないためでした」。このような発注元とのデータの受け渡しにネットワーク経由でなく宅配や手渡しを利用されているのは、受け渡すデータの量やサイズが大きく、既存のネットワーク環境では転送速度が著しく遅れ、データ劣化が懸念されるためでした。

地方で活動する映像、ゲーム、CGなどの企業がこのような課題を持っていることを知ったのと前後して、エスツーは大容量データ高速転送ソリューションIBM Asperaの存在を知りました。「たまたまIBM本社での立ち話の際にIBM Asperaの話を知り、そのとき検討していたGPUと組み合わせることで、地方に活動拠点を持つ映像関連の企業などの課題を解決できるのではないかと考えまし

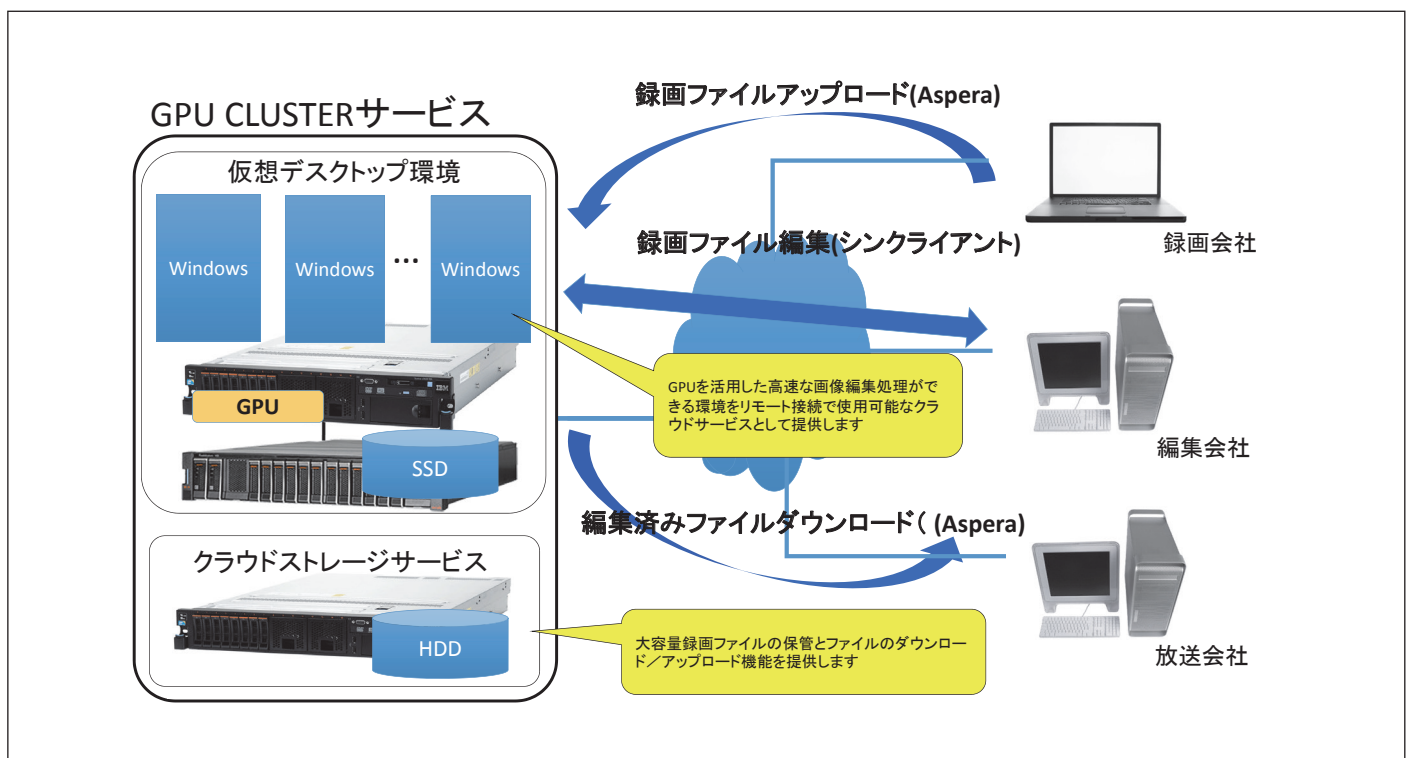


た。映像関連の企業は、編集機器の設備やデータの転送速度がボトルネックになり、例えば首都圏であれば首都圏の同業者間で仕事がやり取りされることが多いのが現状です。当社は、地方でも首都圏の映像関連の企業からの仕事が受注できるように後押ししていきたいと思っています。遠隔デスクトップ環境で映像やCGなどの大容量データを編集し、IBM Asperaで納品できる仕組みが作れば、東北地方の人たちもその場で大容量のデータを首都圏に送れるようになります。これによって、映像編集に使われている高性能なデスクトップPCは必要なくなり、移動中でも編集作業ができるようになると思えました」(須藤氏)。早速エスツーは、首都圏以外でCGや映像の制作に携わっている企業の数や市場にはどれほどの競合が実在するのか、調査を重ねて行いました。その結果、最近5年間で大手のCGや映像の制作会社から独立して地方で活動し始めた企業がかなりの数に上ること、エスツーが考えるようなサービスがまだ世の中に存在していないことが分かりました。

映像編集サービスを単独で実現でき、セキュリティの信頼も厚いIBMを採用

エスツーは、映像編集サービス実現のために動き始めました。その中にはIBM Asperaが本当に最良の選択なのかを検討することも含まれていました。エスツーは、IBM Asperaと3つの他社製品を比較しました。基本的な性能については4製品にそれほどの差異はありませんでしたが、エスツーが考えるサービスを単独で実現できるのはIBM製品だけでした。「当社が考えるサービスはGPUを搭載したサーバー上の仮想デスクトップ環境で安全かつ確実に大容量のデータを納品できるようにすることです。IBMは、IBM AsperaもGPUも提供できるため、当社の要求をすべて満たす形で提案してくれました。ここが他社との一番の違いでした。他社はデータ転送サービスしか提供してくれないため、それを当社で購入し

S2 GPU CLUSTER サービスイメージ図



た後に社内ですべてサービス自体を開発しなければなりません。そのような開発のための時間も要員も当社にはありませんでした」(須藤氏)。

エスツーは、サービス開始までに費やす期間や労力に加えて、セキュリティに関するIBMの実績にも信頼を置き、IBM Asperaを採用することに決めました。「IBM Asperaは高額な商品ですが、この点についてはエスツーが提供するサービスにとっては有効だと思っています。IBM Asperaのような商品は、地方の映像会社の予算規模から考えるとIBM自体が直接彼らに売ることはできません。当社が提供するサービスを複数の会社で共有することで、スタッフが4、5名の映像会社でもIBM Asperaの機能を使うことができます。このような点からIBMと協力してサービスを進められると考えました」(須藤氏)。

試用ユーザーからの高評価に大きな手応えを感じる

エスツーは、IBM Asperaを採用し、S2 GPU CLUSTERという大容量の映像データ編集、動画・CG制作会社向けサービスを開始しました。通常、映像データの編集やCGでの画像処理などをストレスなく行うためにはGPUが必要です。ただし、GPUを搭載するPCは、高額で本体も大きく持ち運びできません。このため、映像データの編集や、CGなどの画像データを処理する企業のスタッフは、長時間にわたって事務所で作業を続けることを強いられます。

エスツーが提供するS2 GPU CLUSTERでは、データセンターに設置したサーバー上にデスクトップ環境が用意され、インターネット経由で遠隔から利用するシンクライアントによって、映像データや画像データをストレスなく処理できます。秋田に設置されたサーバーに遠隔からログインすると、ユーザーの目の前にはWindows 10のデスクトップが表示されます。しかも、サーバーにはGPUが搭載され、大容量のHDD環境や高速なSSDも接続されているため、通常使用しているPCよりも高スペックな環境で作業を進めることができます。このようなデスクトップ環境に加えてS2 GPU CLUSTERでは、IBM Asperaによって大容量のデータ転送も確実に実行されます。「通常使用されているPCよりも高スペックなデスクトップ環境を提供するだけならば、他社が提供する遠隔デスクトップ環境と同じです。課題は、どこでも作業できるようにすることではなく、大容量のデータを確実に転送できるようにすることです。S2 GPU CLUSTERを利用していただくことで、場所を選ばずどこでも仕事ができ、どこからでもデータを転送できるようになります。また、S2 GPU CLUSTERは、4Kにも対応予定です。すでに映像関係の企業は4Kでの編集に備え始めていますが、現状では機材が高額で、なかなか購入できずにいます。恐らく8Kが主流になるときにも同じようなことを繰り返すことになります。S2 GPU CLUSTERを利用していただくことで、このようなハードウェアへの依存がなくなります」(須藤氏)。

現在、エスツーはS2 GPU CLUSTERのテストアカウントを限定提供していますが、すべて貸し出し中の状態が続いています。このような状況から、エスツーは、潜在する利用者の期待値は大きく、同社の売上への貢献度も高いものになると考えています。また、テストアカウントを試用しているユーザーからは、あらゆる作業や操作のスピードが大幅に速くなるとの評価も得ています。このような結果から、エスツーは、S2 GPU CLUSTERが多くのユーザーに受け入れられるだけでなく、業界全体での仕事のやり方までも変えていくのではないかとも思っています。さらに、エスツーは、S2 GPU CLUSTERを提供することで、地方に活動拠点を持つ映像やCG関係の企業も首都圏の企業と同じように仕事ができるようになれば、大きく地方創生にもつながると考えています。首都圏の映画会社やゲーム会社は、すでにIBM Asperaを導入しています。地方に活動拠点を持つ企業がS2 GPU



株式会社エスツー
代表取締役
最高経営責任者 (CEO)
須藤 晃平氏

”当社が考えるサービスはGPUを搭載したサーバー上の仮想デスクトップ環境で安全かつ確実に大容量のデータを納品できるようにすることで。IBMは、IBM AsperaもGPUも提供できるため、当社の要求をすべて満たす形で提案してくれました。ここが他社との一番の違いでした”

導入製品

- IBM Aspera
-

CLUSTERを利用することで、首都圏の映画会社やゲーム会社とIBM Asperaを介して大容量のデータをやり取りでき、首都圏にある企業と同等に仕事を進めることが可能になります。

ゲーム、CG、映像に加えてCAD、学校、病院などにも展開

エスツーは、2016年6月にS2 GPU CLUSTERを正式提供するとともに従量課金を開始します。まずは、地方で活動しているゲーム会社やCG会社による利用を促し、年間で数百アカウントの契約を目標にしています。このように地方の企業を中心に利用を促すことで、同社が目指す「地方の企業が首都圏の企業と同じように仕事ができる」環境を提供していきます。さらに、エスツーは、CADを扱う設計業界や、学校や病院への提供の拡大を図り、海外でのオフショア開発への対応も予定しています。

GPUとIBM Asperaを組み合わせたS2 GPU CLUSTERによって、大容量のデータを速く安全に扱えるようになります。エスツーは、今後さまざまな業界で作業時間が大幅に短縮され、ワークフロー自体も大きく変わっていくだろうと考えています。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

© Copyright IBM Japan, Ltd. 2016

All Rights Reserved

08-16 Printed in Japan

IBM、IBMロゴ、ibm.com、およびAsperaは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

このカタログに掲載されている情報は2016年8月のものです。事前の予告なしに変更する場合があります。

本事例中に記載の肩書や数値、固有名詞等は初掲載当時のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。

事例は特定のお客様での事例であり、すべてのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。

製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。
